



池田桂子作

檜原憲法九条の会ニュース

No 3 1

連絡先 樽門 075-391-0567 下山 075-392-3861

守ろう！
憲法九条
21世紀の宝

9条に自衛隊を明記したらどうなるの？



2017 アベ9条改憲反対・檜原パレード（檜原憲法九条の会主催）

総選挙では、改憲勢力が衆院国会の三分の二を超えることになりました。そこで、アベ首相は2020年施行で改憲するとした「アベ9条改憲」を押し進めようとしています。

街の声を聞きました

なんでやねん？

これまでに秘密保護法、戦争法、共謀罪などの強行採決に走り、憲法をはじめ森友、加計問題などでの質問には耳栓をして答えず、国民を馬鹿にした態度にあきれはてていました。

そのアベ内閣が大きく議席を伸ばすなんて、なんでやねん！

憲法9条があることで戦争せず、また他国から攻められずに来たことはすばらしい。この憲法に見習う国もあるというのに・

その憲法を変えるなんて、先々、戦争を全く知らない人たちによつて自由にされ、孫たちの世代が危なくなるのではと心配で怖いわー

（主婦の声）

ないがしろにされた

今回の総選挙はいったい何だったのか…混乱の間に気付けば終わっていたという選挙は、ほとんど寝ている間に過ぎていった台風のようなものです。目が覚めたときにはとんでもないことになっていた、という。

有権者をないがしろにした政治に終止符を打てるのもまた、有権者であるということをつくづく感じました。

（五反田の男性）

戦争する国はアカン

自衛隊はいざという時に国家国民の困難解決のためにいろいろと力を出す実力組織だと思ってる。国家間紛争を戦争で解決するための戦争部隊ではない。憲法9条を変えて戦争で殺し合う国にしてはよくない。

（庭井の男性）

「アベ9条改憲」では・・・
憲法9条の1項と2項をそのままに、3項に自衛隊を明記（書き加える）すれば、1項と2項は死文化してしまい、自衛隊戦力で海外でも戦争する国になる。

日本国憲法

第二章 戦争の放棄
第9条

- ① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない



どんぶり

団栗帽子

アベくんの土俵壊し

アベくん、ルール無視の次は土俵壊しかい。

反則勝ちで自分の都合良い形にするつてか。

大議席は小選挙区制と政党助成金のおかげ。

強い力の者を有利にするのがアベくんの心。

だけど公平な基本があつてこそ支持される。

土俵だつて丸いから東西力士に平等なんだ。

勝ち星によつて楕円形になんかなるものか。

野党の質問時間を減らせ」にはびっくり。

自分が野党の時にさせたルールじゃないか。

あまりに未熟で恥ずかしくなつたらしいね。

嘘がバレるからつて逃げることはできない。

モリカケのエピローグを待つてますよ！

（誠）

—— 昔ばなし研究の第一人者が大いに語る ——
こどもたちの未来のために
昔あったこと

今、考えなくてはならないこと



小澤俊夫さん(87歳)
・指揮者 小澤征爾の実兄
・シンガーソングライター 小澤健二の父親

2017・8月5日 ひと・まち交

流館京都で小澤俊夫講演会がもたれました。昔ばなしから戦争時代、現代と縦横に話され大いに考えさせられました。

講演ルポの先号分が必要な方は事務局まで (ルポ担当 豊&節子)

(以下 講演のルポ)

大本営発表は大嘘

あの戦争を振り返ると、1941年に太平洋戦争が始まった。その翌年の1942年のミッドウェイ海戦では、大敗したにも関わらず、軽微な損害(大本営発表)と大嘘をついて戦争を継続した。

さらに ガダルカナル島(ニューギニア)に飛行場を建設しようとして全滅したが、大本営発表では戦術的方向転換とされた。1944年のインパール作戦では豚、牛に荷物を背負わせて1000キロ以上を進軍したが、いざと言う時に豚、牛が荷を持って真つ先に逃げ出してしまいういどうにもならなかった。この無謀極まる作戦の主は参謀本部だった。

また右傾化が一人一人の自覚が大事

現在の状況は、富士や読売系マスコミ、ジャーナリストは、徐々に方向転換し右傾化しつつある。

あの安保条約反対闘争の顛末ではマスコミ社が声明を出して、闘争終結宣言を出した歴史がある。今、一人一人の自覚が大事な時である。

現在、日本会議(アベ内閣の90%以上がメンバー)は30年〜40年かけて右傾化をすすめてきている。靖国神社を称えること。これは国が第一で国民(個人)は次という考え方。“世の中のため”が“お国のため”となり、お上が統制する国となる。

教科書は、今は検定だが、戦前戦時中は国定だった。

日本の昔話、隣りの爺さんの話では隣り「つまり 空気をよく読め」ということ。これは個を捨てることにつながる。空気を読む人間になるのは最も危険なことです。ドイツでは、個人個人が自由な意見を持つことを最も大事なこととする考え方で全く異なる。



大学の授業でも日本ではこつり後で聴きにくるし皆の前では質問しない。このように「隣り」を気にして黙っている間に権力者から勝手にされる。

“記憶にありません”を続けている間に、しようがない(長いものにまかれる)と思わせられてしまう。

小説家の阿部知二が昭和21年に当時の雑誌「思索」に“他と異なることの恐れ”を発表した。戦時中は、ほとんどが「隣り」を気にして合わせてきたのが間違いだった。

戦時中、私は中学2年の12月から3年までの間、火薬工場で働いた。特高隊知覧用の爆薬を箱に詰めて火薬庫まで馬車に乗せて運び車庫に納める。という仕事だった。

私は丈夫な方だったが、30キロから45、60、90、110キロと戦況の悪化に連れて次第に重い火薬を運んだ。一生懸命働いたが、遂に腰を痛めてしまった。当時はヒットラー、ムソソリーニを尊敬していた。教育が恐ろしいのは、そういう教育で信じこまされてきたからです。戦後、特攻基地「知覧」を訪れ、特攻で多くの若人が死んだことを知って泣いた。

壊憲暴走の一番危険な時

現在、九条の会「の運動は非常に大事な時です。なぜなら、日本会議が明治神宮、靖国神社を中心に政教一致を進めている。神社やお寺さんの 空気を読まず勢力」は大きく、これに勝たなければいけない。オリンピックは元々、個人の競技だったが、現代は国対決になっている。だから私はオリンピックには反対です。オリンピックを最大限に利用したのがヒットラーで、ゲルマン民族の優秀性を国家として大宣伝し政治的に使った。またオリンピックは沢山のお金を使う。今、もっと使うべき福島などがあるのに……。ところがオリンピックは誰もが「イネ」と言い、言わば「隣り」の 空気を「読む」ようになっていく。それで日本は今、一強政治で壊憲暴走という一番危険な時を迎えている。

今の状況を変えるべきだが、残念ながら交代する政治勢力が弱い。(完)

ソーシャルワーカーの

ブ言

【閑話休題

多様な想像力を育むこと】

想像力が育まれない時代だと、つくづく思います。

直に目にしたり体感したりするまでは、それが本当のことなのかどうか解らないのは当然と言えば当然なのですが、しかし何もかもを実際に経験することはできません。そうしたものに對してわたくしたちは想像力を働かせ、ときに信じ、ときに疑いながら生活しているのです。

もちろん、「まさかそんなことが」という想像を超える事態が起こることは確かにあり、それを『想定外』と言うのですが、しかし「もともと想像力が欠如している」がゆえに、結果的に想定外に至っていることがあるように思えてなりません。想像力を働かせていけば回避できることはたくさんあります。目標は良い結果を想像する事から生まれます。

同じ想定外でも、案ずるより産むが易し』という言葉もあり、たとえ想像



夢 (ピカソ)

が『取り越し苦労』になっても結果が良ければそれで良い。最悪の想像が、想像のまま終わるならそれでいいのです。特にわたくしたち市井の生活者にとってはなおさらです。

ただしこれは「なるようになる」とは違いますが。あらゆる想像をした上での話です。

選挙戦では？

先だつての選挙戦においてもそうです。報道においては与党圧倒的勝利の予想、多数政党であるにもかかわらず、対抗するのは分裂した野党第一党か新党しかなく、ほかの政党という選択肢はないという偏向報道の一方で、世間は「どうせ誰がなつても同じ」という諦めと、「今より悪くならないなら」という現状維持の空感でした。

報道されている以外の選択肢はあるはずと想像するわけですが、その想像することすら赦されない世間の風潮を感じます。選挙権の行使には市井の生活者として現状を見極める理性と、いい方向へ変容するようという期待と、

未来を想像する力が伴います。

いい想像は期待感を生み出し、悪い想像が理性を鍛えます。情報過多な社会だ

からこそ、一方向に偏らない、多様な想像力を育んでいきたいものです。

精神科ソーシャルワーカー

山田 龍亮

健康は糖質制限から

三重町 石高青児

日本においては医療費も40兆円を突破し、まさに「社会保障と税の一体改革」を錦の御旗に掲げ消費税の増税をもくろむ政治家や官僚たちの望む世の中になろうとしている。これには日本人の病院信仰も大きく手伝っているように見える。



病院に行けば安心で医者が何とかしてくれろという無意識的な信仰心だ、

こういう状況では医療費がいくらあっても足りなくなる。国民皆が病氣に對して知識不足であり、受け身であればあるほど医療利権が大きく幅を利かせる結果となる。

病氣になつてからでは遅い。それでも自己治癒力を信じるべきだし適切な方法をとることで治るはずだ。

そこで登場するのが、タイトルの「糖質制限」である。結論から言うと、

これさえやっておけばかなり安心である。しかし、「糖質制限」と言われても多くの人がピンと来ないだろう。「糖質」を摂取すると血糖値が上昇する。血糖値が上昇したままだとまずいので下げようとインスリンというホルモンが働き血糖値が正常値に戻っていく。しかし、この機能がうまく働かなくなつたときは血液異常からくる合併症となる。それに血糖値の上昇と下降を繰り返していると血管が傷つき動脈硬化を引き起こし、将来の糖尿病予備軍となる。

砂糖が「糖質」だとわかってても、米類、小麦粉などの炭水化物も「糖質」だと普通はすぐに思わないので日々、米を、パンを、麵類をと食べる。それは全て血糖値の上昇につながる。

私はこのことを知つた時驚いた。なぜなら、こんなにも深刻な話になるとは夢にも思わなかつたし、多くの人が、このことに注意せず日常生活を送っているのが恐ろしく思えてきたからである。

3000万署名を大成功させよう！

手をつないで「戦争への道」を止めよう



2017年11月1日

檜原憲法九条の会・事務局

日本の進路に大きな影響を与える総選挙が終わりました。

最も注視すべきは改憲勢力が374議席となり全議席の8割を超えたことです。

改憲の本命はあくまで9条改憲です。

安倍首相は「スケジュールありきではない」といいながら、多数議席を背景に、あくまで18年通常国会で改憲発議し、秋に国民投票を実施するとしています。

いま、九条の会も参加している「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が提起した3000万人署名の取り組みの緊急性が増しています。通常国会での9条改憲の発議を阻むために、全国で3000万署名の取り組みを強め発議ができない状況を作り出しましょう。

この声を結集することで、万一発議が強行された場合にも国民投票で否決する力をつくることができます。皆さん、どうぞご協力をお願いします。

3000万署名の進め方・集め方など（署名ポストは署名用紙配布の時に地図で案内します）

- 1 檜原全域に署名用紙を配布し、署名への協力を訴えかけ、お願いをします。
- 2 署名された用紙は、地域の署名ポストに入れるか、または九条の会から集めにいきます。

○第1次収集日；12月10日 ○第2次収集日：2018年4月20日 ○第3次収集日：2018年5月25日

九条文化のひろば

- 閣僚が異口同音に謙虚にと
矢先の国会 審議を減らす
- 孫の手は痒い所に手が届く
なぜに届かぬ 九六(苦勞)の末に
わが齡 苦勞(九六)重ねて今ここに
やがて発つ鳥 永遠に平和を
- 正翁は十一月二日に96歳を迎え、
辞せいの句と言われた
(権田町 林 正翁)
- 朝日照り戦のニース石路の花
立冬のゴルフ外交戦の尻
(庭井 九重 裕)

3000万署名のための 学習会・ご案内

皆さん、
誘い合ってお越しく下さい。

2017年12月7日(木)
午後7時～9時

西京ウエスティ(第1会議室)にて

- 講演：安倍九条改憲を
阻止するために
お話は小笠原伸児氏
(憲法九条京都の会前事務局長)

協力費(500円会場費・通信費)

主催：西京九条の会連絡会
連絡先：下山誠 075-392-3861

編集後記

想像してみよう

想像してみよう、
日本が憲法9条を変えて、
戦争する国になることを。
想像してみよう、
愛する子や孫が外国へ
戦争に行かされることを。
想像してみよう、
戦場で殺し、殺される
子や孫のことを。
想像してみよう、
かつての親たちのように、
子や孫に 国のために戦つて
きなさい」と言うことを。

(事務局 山中)